

第2回 港湾における洋上風力発電の導入円滑化に向けた技術ガイドライン等検討委員会 議事概要

【日時・場所】

- ・日時：平成26年3月24日（水）13時30分～15時00分
- ・場所：弘済会館 4階 蘭の間

【委員】

- ・委員：牛山委員長、委員21名、オブザーバー1名

【議事概要】

(1)ガイドライン（案）について

事務局より説明

(2)意見交換

主な意見は次のとおり

- ① 「設計津波」、「設計津波を超える津波」に対しては、港湾基準と土木学会指針における取扱いを考慮しつつ、具体的な設計方針の記述について、次年度以降検討を行う。
- ② ウィンドファーム内全体に船舶の航行規制をかけることは現行法制上は困難であり、保険による対応等を含め、法的な整理は国において検討することが必要である。
- ③ ウィンドファームへの進入が考えられる漁船やプレジャーボート等を最低限の荷重と想定する等、船舶の衝突荷重に対する考え方を整理する必要がある。
- ④ 開口部付近等、あらかじめ洗掘が安定上問題となるような箇所については、設置させない等の対応が必要である。
- ⑤ 本検討では、基礎形式は重力式、モノパイル式、ジャケット式を対象としているが、それ以外の基礎形式についても対応を考慮する必要がある。（例：ニューマチックケーソン基礎等）
- ⑥ 海底に埋設する陸上への送電ケーブルについては、従来から設置されている電話ケーブルやガス管等を参考に埋設深さ等を検討する。走錨に対する法的取扱いについては、国において検討することが必要である。

以上